

Q**国保税の引き下げ原資はある****A****実質単年度収支は赤字****高田 克彦 議員****質問一** 国保税の収納と短期保険
証発行の状況は。**二** 加入者の手もとに保険証が届
いていない世帯の状況は。**三** 保険給付費の状況は。**四** 国民健康保険税の引き下げを**答弁一（市長）** 平成20年度の収
納率は現年度課税分で89・1割、
前年度と比較して1・5ポイント
の減となった。短期保険証の対象**二** 世帯は21年10月において916世
帯である。**二** 21年11月時点で326世帯が
短期保険証を取りに来ていない。このうち中学生以下のいる世帯は
21世帯、高齢者のいる世帯は34世
帯である。**三** 1人当たりの保険給付費は
年々増加の一途で、19年度から20
年度にかけても約4・3割増加し

保険年金課窓口

四 20年度決算では余剰金が出た
が、これは前年度繰越金と一般会
計からの法定外繰入金によるもの
で、実質単年度収支は約5000
万円の赤字である。国保財政の安
定的な運営を維持していくために
も税率の引き下げは考えていない。
◎その他の質問**一** 鶴ヶ島の教育について論議す
べきいくつかの視点**二** 川越総合卸売市場（株）へ出
資した分は確保されるか**Q****市長公約について****A****市民とともにまちづくりに取り組む****近藤 英基 議員****質問一** 市長公約における「めざ
すつるがしま」について。**二** 市長公約における「実行する
つるがしま」について。**答弁一（市長）** 私が目指す鶴ヶ
島は、だれもが生きる喜びを実感
できるコンパクトな人間中心のま
ちであり、こうしたまちづくりを
進めていくための主要なプロジェ
クトとなるのが「水土里の交流圏
構想」である。鶴ヶ島にある魅力的な自然と、
都市近郊の豊かな農業といった資
源を生かして、市内外の人と人、
人と自然、さまざまな活動が交流
し合う活力ある希望に満ちた鶴ヶ

島を目指していく。

二 私は、四つの項目で取り組む。一つ目は、未来を担う子どもた
ちを育てるまちである。二つ目は、市民とともに育てる
健康、福祉のまちである。三つ目は、安心で快適な生活者
中心のまちである。四つ目は、改革を進めるまちで
ある。これらを基本として、しっかり
と前を向き、市民の皆さまと一緒
になってまちづくりに取り組んで
いく。◎その他の質問 今後のふろいで
について

第1回健康マラソン大会